

(案)

第四次国有林野施業実施計画書

(網走西部森林計画区)

計画期間

自 平成26年4月 1日
至 平成31年3月31日

策定年月日：平成26年3月 日

北海道森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの 伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	
	(1) 伐採造林計画簿	1
	(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
	(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
	(4) 伐採総量	2
	(5) 更新総量	4
	(6) 保育総量	4
3	林道の整備に関する事項	5
4	治山に関する事項	7
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	
	(1) 保護林の名称及び区域	8
	(2) 緑の回廊の名称及び区域	8
6	レクリエーションの森の名称及び区域	9
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	11
8	その他必要な事項	
	(1) 施業指標林、試験地等	12
	(2) フィールドの提供	14
	(3) 森林共同施業団地	15

別表 保護林及びレクリエーションの森等の箇所別一覧表

保護林

レクリエーションの森

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプ

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域
国有林野施業実施計画図（別添1）による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿（別添2）による。

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

区分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年	
			樹種	
単層林施業群	16,940	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	65年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	80年
			カラマツ ・グイマツ	50年
			その他針葉樹	60年
長期単層林施業群	14,951	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	120年
			カラマツ ・グイマツ	80年
			その他針葉樹	90年
複層林施業群	2,309	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
			カラマツ ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混交林施業群	10,778	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	30年	
育成天然林施業群	43,787	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】		
天然生林施業群	24,586	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。 【施業方法：天然生林へ導くための施業】		
合計	113,351			

注) 林地面積の集計である。

計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。(以下の表についても同じ)

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林
上限伐採面積	1,359	754	453	2,695	10,946	6,147

(4) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	10,500	(1,812) 105,098	115,598				
自然維持タイプ	-	-	-				
森林空間利用タイプ	-	(31) 2,105	2,105				
快適環境形成タイプ	-	-	-				
水源涵養タイプ	単層林	(2,931) 38,704	176,159	214,863			
	長期単層林	(2,331) -	142,500	142,500			
	複層林	(156) 37,364	9,603	46,967			
	混交林	(1,628) 6,898	89,351	96,249			
	育成天然林	(399) 3,988	26,324	30,312			
	天然生林	-	-	-			
	計	(7,445) 86,954	443,937	530,891			
合 計	(9,288) 97,454	551,140	648,594	119,200	767,794	-	767,794
年 平 均	(1,858) 19,491	110,228	129,719	23,840	153,559	-	153,559

注) 上段 () は、間伐面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位: m²、h a)

市町村名	林 地				林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量 計		
紋 別 市	24,928	(2,314) 116,036	140,964			
遠 軽 町	57,670	(3,886) 250,173	307,843			
湧 別 町	4,254	(565) 43,036	47,290			
滝 上 町	10,602	(2,522) 141,895	152,497			
合 計	97,454	(9,288) 551,140	648,594			

注1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注2) 上段()の数値は間伐面積(h a)を表し、合計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。

(5) 更新総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工造林	単層林造成	-	-	-	-	133	133
	複層林造成	107	-	-	-	284	391
	計	107	-	-	-	417	524
天然更新	天然下種第1類	-	-	-	-	-	-
	天然下種第2類	113	-	-	-	204	316
	ぼう芽更新	-	-	-	-	-	-
	計	113	-	-	-	204	316
合 計		220	-	-	-	620	840

(6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下 刈	1,415	-	28	-	5,010	6,453
	つる切り	32	-	11	-	129	172
	除 伐	21	-	7	-	87	115

3 林道の整備に関する事項

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数 (改良)	備考
網走西部森林管理署						
その他	開設	16林班	16	3,300		遠軽町
		17林班	17	3,200		遠軽町
		18林班	18	3,200		遠軽町
		5号の沢	240, 242	2,600		遠軽町
		砂金沢	245, 246, 259	5,800		遠軽町
		260林班	260	1,900		遠軽町
		272林班	272	1,000		遠軽町
		278林班	278	2,000		遠軽町
		288林班	288	4,500		遠軽町
		333林班	322, 323, 333	5,300		遠軽町
		奥生田原	351	4,500		遠軽町
		清里	354, 355, 357	3,900		遠軽町
		八重里	357	5,200		遠軽町
		1049林班	1049, 1052, 1062	13,250		遠軽町
		湯の沢林道平牛線	1109, 1111, 1124	3,000		遠軽町
		二号沢	2107	1,500		遠軽町
		下滝の沢	2108, 2111	2,700		遠軽町
		91林班	91	3,000		湧別町
		95林班	95	2,500		湧別町
	計	19路線		72,350		
その他	改良	317林班	316, 317	30	1	遠軽町、溝渠工
		峠下	82, 83	30	1	湧別町、溝渠工
	計	2路線		60	2	
網走西部森林管理署合計						
開設	基幹	-路線		-		
	その他	19路線		72,350		
	計	19路線		72,350		
改良	基幹	-路線		-	-	
	その他	2路線		60	2	
	計	2路線		60	2	
網走西部森林管理署西紋別支署						
その他	開設	鴻輝	1082~1084	7,252		紋別市
		鴻輝支線	1084	1,820		紋別市
		大西沢支線	1079, 1081	2,670		紋別市
		立牛13線	1069~1071	2,900		紋別市
		和訓辺右線	1013, 1016	3,400		紋別市
		上古丹3号沢支線	1066, 1069, 1070	5,700		紋別市
		1012林班	1012	2,500		紋別市
		上古丹支流支線	1060~1062	2,500		紋別市
		立牛木線沢	1072~1074	4,200		紋別市
		立牛6線沢	1074~1077	4,600		紋別市
		中ウツツ右の沢支線	1004, 1005	3,700		紋別市
		1031林班	1031	2,500		紋別市
		クチャンナイ支線	1062, 1063	2,600		紋別市
		5林班	5, 6	6,768		滝上町
		上雄柏支線	358~361	7,605		滝上町
		滝上56林班支線	55, 56	1,700		滝上町
		南11線沢	72, 73	3,800		滝上町
		108林班	108	1,400		滝上町
		ルベシベ沢	328, 329	3,600		滝上町
	計	19路線		71,215		
基幹	改良	上立牛40線沢	1033	30	1	紋別市、溝渠工
		上古丹	1048	100	2	紋別市、溝渠工

基幹・ その他別	開設・ 改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数 (改良)	備考
基幹	改良	札久留二股	50, 52	30	1	滝上町、橋梁工
		雄柏中峰	317	20	1	滝上町、溝渠工、土留工
		雄柏	364	20	1	滝上町、溝渠工
	計	5 路線		200	6	
その他	改良	宇津々本流	1010	60	2	紋別市、溝渠工
		上古丹14号沢	1052	30	1	紋別市、溝渠工
		上古丹3号沢	1066	75	1	紋別市、溝渠工
		滝奥56線沢	国有林外	30	1	滝上町、橋梁工
	計	4 路線		195	5	
網走西部森林管理署西紋別支署合計						
開設	基幹	- 路線		-	/	
	その他	19 路線		71, 215		
	計	19 路線		71, 215		
改良	基幹	5 路線		200	6	
	その他	4 路線		195	5	
	計	9 路線		395	11	
森林計画区合計						
開設	基幹	- 路線		-	/	
	その他	38 路線		143, 565		
	計	38 路線		143, 565		
改良	基幹	5 路線		200	6	
	その他	6 路線		255	7	
	計	11 路線		455	13	

注) 災害復旧等緊急を要する改良については、指定箇所以外においても実行ができるものとする。

4 治山に関する事項

位置	区分	工種	計画量	備考
網走西部森林管理署計				
121林班	保全施設	溪間工	5箇所	遠軽町
121林班	保全施設	山腹工	1箇所	遠軽町
285林班	保全施設	溪間工	3箇所	遠軽町
285林班	保全施設	山腹工	1箇所	遠軽町
1028林班	保全施設	山腹工	1箇所	遠軽町
2118林班	保全施設	溪間工	8箇所	遠軽町
2118林班	保全施設	山腹工	3箇所	遠軽町
網走西部森林管理署計	保全施設	溪間工	16箇所	
		山腹工	6箇所	
		計	22箇所	
	保安林の整備	植栽工	- ha	
		本数調整伐	- ha	
		計	- ha	
網走西部森林管理署西紋別支署				
1067林班	保全施設	溪間工	2箇所	紋別市
1080, 1082林班	保全施設	溪間工	2箇所	紋別市
1106林班	保全施設	山腹工	2箇所	紋別市
1106林班	保全施設	防潮護岸工	4箇所	紋別市
1227, 1228林班	保全施設	溪間工	2箇所	紋別市
17林班	保全施設	溪間工	2箇所	滝上町
45, 49林班	保全施設	溪間工	1箇所	滝上町
50, 52林班	保全施設	溪間工	1箇所	滝上町
136, 142林班	保全施設	溪間工	2箇所	滝上町
143, 146林班	保全施設	溪間工	2箇所	滝上町
203, 204林班	保全施設	溪間工	4箇所	滝上町
363林班	保全施設	溪間工	2箇所	滝上町
371林班	保全施設	溪間工	2箇所	滝上町
1106林班	保安林の整備	本数調整伐	9 ha	紋別市
網走西部森林管理署西紋別支署計	保全施設	溪間工	22箇所	
		山腹工	2箇所	
		防潮護岸工	4箇所	
		計	28箇所	
	保安林の整備	植栽工	- ha	
		本数調整伐	9 ha	
		計	9 ha	
森林計画区合計	保全施設	溪間工	38箇所	
		山腹工	8箇所	
		防潮護岸工	4箇所	
		計	50箇所	
	保安林の整備	植栽工	- ha	
		本数調整伐	9 ha	
		計	9 ha	

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域
 (1) 保護林の名称及び区域

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
林木遺伝資源保存林	網走西部森林管理署				
	北見アカエゾマツ10	H1既設	15.90	1088 ろ	アカエゾマツの遺伝資源の保存
	北見イヌエンジュ12	H1既設	20.58	3 と	イヌエンジュの遺伝資源の保存
	北見カシワ3	H1既設	102.69 16.76	112 ち つ	海岸カシワ林の遺伝資源の保存
	計		119.45		
	北見ウダイカンバ2	H1既設	2.50 6.95	226 は ほ	ウダイカンバの遺伝資源の保存
	計		9.45		
	北見シラカンバ26	H3既設	2.81 4.94 1.79	266 は に 268 ほ	シラカンバの遺伝資源の保存
	計		9.54		
	北見エゾマツ15	H1既設	8.52	344 し	エゾマツの遺伝資源の保存
	網走西部森林管理署西紋別支署				
	北見トドマツ1	H1既設	6.40	314 い	トドマツ遺伝資源の保存
	北見ミズナラ、オオバボダイジュ、ベニイタヤ5	H1既設	10.42	281 に	ミズナラ、オオバボダイジュ、ベニイタヤの遺伝資源の保存
森林計画区計	8箇所	200.26			
特定保護林等	網走西部森林管理署				
	白滝流紋岩球顆	H5既設	3.00	2080 ほ	黒曜石の中に球顆が暑い岩層を形成する特異な地形で、学術的価値が高く、保護を図る。
森林計画区計	8箇所	3.00			
森林計画区合計	9箇所	203.26			

(2) 緑の回廊の名称及び区域

該当無し

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名 称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考	
自然休養林	網走西部森林管理署									
	サロマ湖畔 自然休養林	既設	463.60	別表参照	鬱蒼とした原生的森林が湖上に映える雄大な景観、原生花園といった自然と親しめる。	複天 間伐 19.9 ha	遊歩道の草刈りを毎年実施	駐車場 2箇所 遊歩道 2,657m	「*」は、保健機能森林に該当する森林	
	* (森林スポーツゾーン) (風景ゾーン)		105.14 358.46							
	網走西部森林管理署西紋別支署									
自然休養林	滝上溪谷 自然休養林	既設	849.18	別表参照	天然林が多く、広葉樹林から針葉樹林へ移行する林相が美しく、野生動植物の観察に適し、樹海及び山岳の眺望がすばらしい。	単複天 間伐 10.22 ha	車道外 (滝上町) 歩道外 (国)	標示塔外	「*」は、保健機能森林に該当する森林	
	(自然観察教育ゾーン)		11.10							
	* (自然観察教育ゾーン) (風景ゾーン)		494.04 344.04							
森林計画区計		2箇所	1,312.78							
自然観察教育林	網走西部森林管理署									
	ひらやま 自然観察 教育林	既設	1,099.53	別表参照	総面積のうち約500haが高山帯で、道東随一の貴重で豊富な高山植物が展開し、学術上からの価値がきわめて高い。				「*」は、保健機能森林に該当する森林	
* (自然観察教育ゾーン)			0.95 1,098.58							
森林計画区計		1箇所	1,099.53							
森林スポーツ林	網走西部森林管理署									
	天狗岳 森林 スポーツ林	既設	775.54	別表参照	比麻良山、チトカニウシ山、支湧別岳等1000m以上の山岳連峰が視野に入り、天狗岳は夏山に登山されている。	複天			「*」は、保健機能森林に該当する森林	
	* (森林スポーツゾーン)		1.65 773.89							
森林スポーツ林	北見峠 森林 スポーツ林	既設	780.66	別表参照	エゾマツ、ダケカンバ等の原生的森林に覆われ、林床はチシマザサが密集している。国道333号線のシラカンパロードは旅行者の憩いの場であり、春から秋は森林ハイキング、冬は早い時期からの降雪によりクロスカントリースキーが可能で道外からの利用も多く、年間を通じたレクリエーションの場である。	複天			保健機能森林に該当する森林	
	森林計画区計		2箇所	1,556.20						

種類	名 称	新設・ 既設	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備 考	
野外スポーツ地域	網走西部森林管理署									
	北大雪 野外 スポーツ地域	既設	373.37	別表 参照	高海拔のため降雪は早く、融雪は遅い。また、雪質がよく、12月から4月までスキーが楽しめる。小天狗岳(1,329m)からの眺めがすばらしい。	複				
	瀬戸瀬 野外 スポーツ地域	既設	259.97	別表 参照	良好な雪質、雪量、長いシーズン、変化に富んだスロープ、温泉郷がある。	複天 間伐 0.59 ha				
森林計画区計		2箇所	633.34							
風景林	網走西部森林管理署									
	武利岳風景林	既設	1,214.04	別表 参照	大雪山系独特の森林景観と、高山植物の美しさ、変換に富んだ細い尾根、頂上からの大雪連峰及びオホーツク海の展望が美しい。	複天				
	上武利風景林	既設	229.96	別表 参照	春から秋にかけて特有の森林景観をなし、市街を流れる武利川の奇岩、清流と森林が調和している。	複天				
	山彦の滝 風景林	既設	381.68	別表 参照	年間を通じ流量が変わらず、28mの高さから頭上に落ちる瀑布は、周囲の針葉樹林の静寂を破り、また自然景観が美しい。	複				
	網走西部森林管理署西紋別支署									
	浮島岬風景林	既設	30.44	別表 参照	高山湿原に浮かぶ浮島とそれを囲む原生天然林、その特異な自然景観と山岳の眺望がすばらしい。	天				
	上紋岬風景林	既設	8.09	別表 参照	濃緑の絨毯を敷いたようなチシマザサの中に生育するダケカンバ林、藻瀬狩山の樹海と雄大な山岳眺望が美しい。	天		駐車場		

種類	名 称	新設・ 既設	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備 考
風景林	北見富士 風景林	既設	425.88	別表 参照	高山性山岳の原生 的森林と変化に富ん だ数条の滝、溪谷等 があり、山頂付近に は多数の高山植物が 生育している。	天			
	森林計画区計	6箇所	2,290.09						
	森林計画区合計	13箇所	6,891.94						

注1) 備考欄の「保健機能森林に該当する森林」とは、「森林の保健機能の増進に関する特別措置法」に基づき、施設の整備を森林の施業と一体的かつ計画的に推進する森林のことを指す。

注2) 施業方法 単＝育成単層林へ導くための施業 複＝育成複層林へ導くための施業
天＝天然生林へ導くための施業

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名 称	設定年	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	備 考
遺伝子保存林	網走西部森林管理署				
	クロエゾマツ丸瀬布	昭和49年	6.98	7 か	材木の優良な遺伝子群を確保し、これを保存し、遺伝子補給源として活用することを目的に設定している。
	アカエゾマツ上武利A	昭和50年	5.05	1058 へ	
	アカエゾマツ上武利B	昭和51年	7.26	1059 へ	
森林計画区計		3箇所	19.29		
検定林	網走西部森林管理署				
	試植検定林 (北適応見3号)	昭和52年	0.97	4 そ	外国からの導入樹種、在来品種、その他育成品種の中で、実用化の可能性の高いものを現地に試植し、その生産性を確認するための林分である。
	試植検定林 (北適応見5号)	昭和56年	0.60	2007 こ	
	一般次代検定林 (北見5号)	平成4年	2.43	1028 ね	採種園の精鋭樹クローンを用いて造成された林分である。
	地域差検定林 (北見8号)	平成4年	2.20	2001 ひ	各精鋭樹の家系が同じような生産能力を示す範囲を知り、種苗の合理的な配布区域を定めるために造成された林分である。
	網走西部森林管理署西紋別支署				
地域差検定林 (北見7号)	平成4年	2.22	24 な	同上	
森林計画区計		5箇所	8.42		
施業指標林	網走西部森林管理署				
	広葉樹高品質材等 生産施業指標林	平成3年	10.00	227 ほ	広葉樹高品質材の生産の指標とするための林分である。
	複層林施業指標林	平成11年	1.78	302 め	複層林施業の指標とするための林分である。
		平成12年	7.30	316 る	
		平成13年	4.70	316 ぬ	
		平成10年	2.64	302 ち	
	育成複層林施業指標林	平成13年	7.00	356 か	複層林施業の指標とするための林分である。(改植)
		平成15年	1.00	302 る	
	間伐施業指標林	平成8年	3.93	344 ひ	通常の施業(間伐)の指標とするための林分である。
		平成9年	1.54	314 こ	
		平成9年	2.62	325 い	
		平成10年	3.22	302 り	
	平成13年	1.63	302 ひ		
	上層間伐施業指標林	平成11年	3.03	302 み	上層間伐の指標とするための林分である。
	保育伐施業指標林	平成14年	13.57	343 と	保育伐の指標とするための林分である。
		平成14年	6.05	343 え	
		平成14年	5.20	356 や	
育成天然林施業指標林	平成3年	6.45	348 か	天然下種第I類の取扱いの指標とするための林分である。	
	平成13年	9.75	349 お		
保残木施業指標林	平成3年	7.25	356 む	保残木の取扱いの指標とするための林分である。	
網走西部森林管理署西紋別支署					
海岸防災林施業指標林	海岸防災林施業指標林	平成2年	0.51	1106 い	海岸防災林の指標とするための林分である。
			0.52	1106 ろ	
			0.48	1106 ね	
			0.49	1106 な	
計			2.00		
森林計画区計		20箇所	100.66		

種類	名 称	設定年	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	備 考
展示林	網走西部森林管理署				
	広葉樹施業展示林	平成3年	1.00	308 れ	ぼう芽更新で成林したミズナラ主体とする森林に誘導された林分である。
	森林計画区計	1箇所	1.00		
試験地	網走西部森林管理署				
	広葉樹二次林施業試験地	昭和50年	1.00	308 れ	広葉樹二次林でミズナラ、センノキ等を対象に、大径材生産のための施業を検討する試験地である。
		昭和55年	5.85	227 に	ぼう芽再生林において、間伐、枝打ちを実行し、林分推移、節融合、更新状況を把握するための試験地である。
	ミズナラ萌芽更新試験地	平成12年	0.23	308 つ	択伐跡地のミズナラ伐根からの萌芽木について、水土保持林での萌芽による広葉樹二次林天然更新技術の参考データを得るための試験地である。
	混交林除伐試験地	平成12年	4.34	324 わ	混交林施業群の造林地について、保育段階からの広葉樹導入を図るための効除伐方法を確立するための試験地である。
	アカエゾマツ人工林枝打ち試験地	平成8年	0.10	325 れ	アカエゾマツ優良材生産のための枝打ち管理技術を確立するための試験地である。
		平成8年	0.29	356 し	
	人工林収穫試験地 (アカエゾマツ)	平成8年	1.10	325 そ	成長量、枯損量、収穫量、その他の統計資料の収集と林分構造の推移を解明するための試験地である。
	人工林収穫試験地 (カラマツ)	昭和40年	1.10	337 ね	
		昭和42年	1.09	1108 う	
	広葉樹二次林試験地	昭和60年	0.85	364 つ	山火事再生林伐採跡地において萌芽力を活用した施業方法を確立するための試験地である。
		森林計画区計	10箇所	15.95	

種類	名 称	設定年	面 積 (h.a)	位 置 (林小班)	備 考
モデル林	網走西部森林管理署				
	水土保全モデル林	平成12年	2.64	302 ち	水源涵養機能の維持に配慮して複層林施業を実施したモデル林である。
			1.78	302 め	
	網走西部森林管理署西紋別支署				
	水土保全モデル林	平成12年	0.51	1106 い	オホーツク海に吹き寄せる波風や流水から後背地を守るために造成したモデル林である。
			0.52	1106 ろ	
0.48			1106 ね		
0.49			1106 な		
計		2.00			
森林計画区計	2箇所	6.42			
森林計画区合計	41箇所	151.74			

(2) フィールドの提供

対 象 地 (林 小 班)	設 定 の 目 的	備 考
網走西部森林管理署		
111い～に、イ～ハ、へ	遊々の森として (やすらぎの森)	協定面積105.02ha 湧別町立芭露小学校
網走西部森林管理署西紋別支署		
1106へ～ち、る、た、れ	社会貢献の森として (元紋別海岸オホーツクいこいの森)	協定面積4.79ha オホーツク森林づくりクラブ
森林計画区合計	2箇所	面積：109.81ha

(3) 森林共同施業団地

名 称	対 象 地 (林 小 班)	面 積 (h a)	連携した施業 の内容	備 考
網走西部森林管理署				
支湧別地域森林整備に関する協定	民	3017~3019	222	国有林の持つ森林施業技術の提供と共有 協定相手：遠軽町
	国	2012~2013 2015~2017 2020~2023い 2024~2028 2041~2044	2,101	
網走西部森林管理署西紋別支署				
中立牛地区森林整備推進協定	民	291~293	364	国有林と市有林の路網の共有 協定相手：紋別市
	国	1019~1023	737	
森林計画区合計	民		586	2箇所
	国		2,838	
	計		3,424	